

# アデノウイルス結膜炎の 今を究める

2019年7月6日(土) 18:30~19:30  
国立京都国際会館 第6会場RoomB-1



座長  
内尾 英一 先生  
福岡大学

## 座長のことば

アデノウイルス結膜炎は接触感染による伝染性疾患であり、院内感染対策の上で重要な疾患です。最近話題となっている52型以降のいわゆる新型による臨床所見の変化、特に角膜合併症への対処が臨床現場の先生方には大きな問題となっていると思われます。迅速診断法はこれまで長く綿棒による結膜擦過法によって行われていましたが、涙液を主とした検体による新しい方法が認知されてきています。54型が新型の代表ですが、それ以外にどのような新型が結膜炎から出てきているのか、今後の流行を考える上で重要です。このセミナーではアデノウイルス結膜炎の「診断」「治療」そして「疫学」の3つの視点からスペシャリストの先生方にアデノウイルス結膜炎を究めて頂くことになっています。ウイルス性結膜炎を解くための臨床への新しいカギをお届けできればと思います。

## 演題 1

### 診断を究める

「高感度キットで涙液から  
アデノウイルスを同定する」

演者 金子 久俊 先生

ほばら眼科/福島県立医科大学

## 演題 2

### 治療を究める

「難治性角膜合併症への対策」

演者 佐伯 有祐 先生

福岡大学

## 演題 3

### 疫学を究める

「アデノウイルス疫学情報を知る」

演者 藤本 嗣人 先生

国立感染症研究所 感染症疫学センター/  
北海道医療大学

# アデノウイルス結膜炎の 今を究める

2019年7月6日(土) 18:30~19:30

国立京都国際会館 第6会場RoomB-1



座長 内尾 英一 先生 (福岡大学)

1985年	九州大学医学部 卒業	1996年	横浜市立大学医学部眼科 講師
1991年	横浜市立大学医学部眼科 助手	2000年	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター 眼科 助教授
1993年	日本学術振興会特定国派遣研究者(ロンドン大学)	2005年	福岡大学医学部眼科 教授
1995年	茅ヶ崎市立病院眼科 医長		



## 診断を究める

演者 「高感度キットで涙液からアデノウイルスを同定する」

金子 久俊 先生 (ほばら眼科/福島県立医科大学)

1993年	福島県立医科大学 卒業、眼科学講座 入局	2010年	福島県立医科大学 講師
1996年	坂下厚生総合病院 眼科医長	2011年	ほばら眼科 院長、福島県立医科大学 非常勤講師
2002年	福島県立医科大学 助教	2018年	福島県立医科大学 臨床教授



## 治療を究める

演者 「難治性角膜合併症への対策」

佐伯 有祐 先生 (福岡大学)

1998年	鳥取大学医学部 卒業	2009年	福岡大学筑紫病院 助教
1998年	鳥取大学医学部眼科 医員	2014年	福岡大学医学部眼科 助教
2004年	鳥取大学大学院医学系研究科 博士課程修了	2018年	福岡大学医学部眼科 講師
2007年	鳥取大学医学部眼科 助教		



## 疫学を究める

演者 「アデノウイルス疫学情報を知る」

藤本 嗣人 先生 (国立感染症研究所 感染症疫学センター/  
北海道医療大学)

1985年	星薬科大学薬学部 卒業	2001年	博士(薬学) 星薬科大学
1987年	星薬科大学大学院薬学研究科 修了	2005年	東京大学大学院医学研究科発達医科学 客員研究員(兼務)
1987年	兵庫県立淡路病院薬剤部 病院薬剤師	2007年	国立感染症研究所 感染症疫学センター 第4室長
1990年	兵庫県庁業務課 麻薬取締員	2017年	東邦大学医学部微生物・感染症学講座 非常勤講師(兼務)
1992年	兵庫県立衛生研究所微生物部 研究員	2018年	北海道医療大学 客員教授(兼務)
1996年	兵庫県立衛生研究所感染症部 主任研究員		

